

第二級アマチュア無線技士「法規」試験問題

3 0 問 2 時間 3 0 分

A－1 総務大臣が無線局の免許を与えないことができる者として、電波法（第5条）に規定されているものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 刑法に規定する罪を犯し懲役に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- 2 無線局の運用の停止の命令を受け、その停止の期間の終了の日から2年を経過しない者
- 3 電波の発射の停止の命令を受け、その停止の命令の解除の日から2年を経過しない者
- 4 無線局の免許の取消しを受け、その取消しの日から2年を経過しない者

A－2 無線局の予備免許を受けた者が、総務省令で定める軽微な事項について工事設計を変更したときにとるべき措置に関する記述として、電波法（第9条）の規定に適合するものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 電波法第8条の予備免許を受けた者は、総務省令で定める軽微な事項について工事設計を変更したときは、遅滞なくその旨を総務大臣に届け出なければならない。
- 2 電波法第8条の予備免許を受けた者は、総務省令で定める軽微な事項について工事設計を変更したときは、電波法第10条（落成後の検査）の検査に際しその旨を検査職員に申し出なければならない。
- 3 電波法第8条の予備免許を受けた者は、総務省令で定める軽微な事項について工事設計を変更したときは、総務省令で定めるところにより、その旨を総務大臣に申請し、その登録を受けなければならない。
- 4 電波法第8条の予備免許を受けた者は、総務省令で定める軽微な事項について工事設計を変更したときは、電波法第10条（落成後の検査）の検査が終了した後に交付される無線局検査結果通知書の所定の欄にその旨を記載しなければならない。

A－3 次の記述は、無線局の免許人の申請による周波数等の変更について述べたものである。電波法（第19条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

総務大臣は、免許人が A 又は運用許容時間の指定の変更を申請した場合において、 B と認めるときは、その指定を変更することができる。

A

- 1 識別信号、電波の型式、周波数、空中線電力
- 2 識別信号、電波の型式、周波数、空中線電力
- 3 電波の型式、周波数、無線設備の設置場所
- 4 電波の型式、周波数、無線設備の設置場所

B

- 電波の規整その他公益上必要がある
混信の除去その他特に必要がある
電波の規整その他公益上必要がある
混信の除去その他特に必要がある

A－4 次の記述は、アマチュア無線局の廃止等について述べたものである。電波法（第22条から第24条まで及び第78条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

- ① 免許人は、その無線局を A ときは、その旨を総務大臣に届け出なければならない。
- ② 免許人が無線局を廃止したときは、免許は、その効力を失う。
- ③ 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、 B 以内にその免許状を返納しなければならない。
- ④ 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、遅滞なく C の撤去その他の総務省令で定める電波の発射を防止するために必要な措置を講じなければならない。

A

- 1 廃止した
- 2 廃止した
- 3 廃止する
- 4 廃止する

B

- 1 箇月
- 1 0 日
- 1 0 日
- 1 箇月

C

- 送信装置
- 空中線
- 送信装置
- 空中線

A－5 次の記述は、受信設備の条件について述べたものである。電波法（第29条）及び無線設備規則（第24条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。なお、同じ記号の 内には、同じ字句が入るものとする。

- ① 受信設備は、その副次的に発する電波又は高周波電流が、総務省令で定める限度を超えて **A** を与えるものであってはならない。
- ② ①に規定する副次的に発する電波が **A** を与えない限度は、受信空中線と **B** の等しい **C** を使用して測定した場合に、その回路の電力が4ナノワット以下でなければならない。ただし、無線設備規則第24条（副次的に発する電波等の限度）第2項以下の規定において、別に定めのある場合は、その定めるところによるものとする。

	A	B	C
1	他の無線設備の機能に支障	利得及び能率	空中線結合回路
2	他の無線設備の機能に支障	電氣的常数	擬似空中線回路
3	重要無線通信を行う無線局の運用に妨害	利得及び能率	擬似空中線回路
4	重要無線通信を行う無線局の運用に妨害	電氣的常数	空中線結合回路

A－6 次の表の各欄の記述は、それぞれ電波の型式の記号表示と主搬送波の変調の型式、主搬送波を変調する信号の性質及び伝送情報の型式に分類して表す電波の型式を示したものである。電波法施行規則（第4条の2）の規定に照らし、電波の型式の記号表示と電波の型式の内容が適合するものを下の表の1から4までのうちから一つ選べ。

区分 番号	電波の 型式の 記号	電波の型式		
		主搬送波の変調の型式	主搬送波を変調する信号の性質	伝送情報の型式
1	D 3 C	同時に、又は一定の順序で振幅変調及び角度変調を行うもの	アナログ信号である単一チャンネルのもの	ファクシミリ
2	F 7 D	角度変調であって周波数変調	デジタル信号である2以上のチャンネルのもの	テレビジョン（映像に限る。）
3	G 1 B	角度変調であって位相変調	デジタル信号である単一チャンネルのものであって変調のための副搬送波を使用しないもの	無情報
4	R 3 E	振幅変調であって独立側波帯	アナログ信号である単一チャンネルのもの	電話（音響の放送を含む。）

A－7 送信装置の周波数の安定のための条件に関する記述として、無線設備規則（第15条）の規定に適合しないものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 周波数をその許容偏差内に維持するため、送信装置は、できる限り電源電圧又は負荷の変化によって発振周波数に影響を与えないものでなければならない。
- 2 周波数をその許容偏差内に維持するため、発振回路の方式は、できる限り外囲の温度又は湿度の変化によって影響を受けないものでなければならない。
- 3 移動局（移動するアマチュア局を含む。）の送信装置は、気圧の変化によっても周波数をその許容偏差内に維持するものでなければならない。
- 4 移動局（移動するアマチュア局を含む。）の送信装置は、實際上起こり得る振動又は衝撃によっても周波数をその許容偏差内に維持するものでなければならない。

A－8 次の記述は、送信空中線の型式及び構成について述べたものである。無線設備規則（第20条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

送信空中線の型式及び構成は、次の各号に適合するものでなければならない。

- (1) 空中線の **A** がなるべく大であること。
- (2) **B** が十分であること。
- (3) 満足な **C** が得られること。

	A	B	C
1	利得及び能率	強度	電界強度
2	利得及び能率	整合	指向特性
3	絶対利得	整合	電界強度
4	絶対利得	強度	指向特性

A－9 次の記述は、混信等の防止について述べたものである。電波法（第56条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

無線局は、 A 又は電波天文業務（注）の用に供する受信設備その他の総務省令で定める受信設備（無線局のものを除く。）で総務大臣が指定するものにその B その他の妨害を与えないように運用しなければならない。ただし、 C については、この限りでない。

注 宇宙から発する電波の受信を基礎とする天文学のための当該電波の受信の業務をいう。

A	B	C
1 放送の受信を目的とする受信設備	運用を不可能にする混信	遭難通信、緊急通信、安全通信及び非常通信
2 放送の受信を目的とする受信設備	運用を阻害するような混信	遭難通信
3 他の無線局	運用を不可能にする混信	遭難通信
4 他の無線局	運用を阻害するような混信	遭難通信、緊急通信、安全通信及び非常通信

A－10 次の記述は、一般通信方法における無線通信の原則について述べたものである。無線局運用規則（第10条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

- ① A 無線通信は、これを行ってはならない。
② 無線通信に使用する用語は、 B なければならない。
③ 無線通信を行うときは、自局の C を付して、その出所を明らかにしなければならない。
④ 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。

A	B	C
1 必要のない	できる限り簡潔で	識別信号
2 必要のない	なるべく略符号又は略語を使用し	識別信号に運用する場所の地域名
3 長時間の	できる限り簡潔で	識別信号に運用する場所の地域名
4 長時間の	なるべく略符号又は略語を使用し	識別信号

A－11 次の記述は、モールス無線通信における誤送の訂正について述べたものである。無線局運用規則（第31条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

送信中において誤った送信をしたことを知ったときは、次に掲げる略符号を前置して、 A から更に送信しなければならない。

- (1) 手送による和文の送信の場合は、ラタ
(2) 自動機（自動的にモールス符号を送信又は受信するものをいう。）による送信及び手送による欧文の送信の場合は、 B

A	B
1 正しく送信した適當の語字	R P T
2 正しく送信した適當の語字	<u>HH</u>
3 誤った語字	R P T
4 誤った語字	<u>HH</u>

A－12 次の記述は、アマチュア局の無線電話通信において、他の無線局を一括して呼び出そうとするときに順次送信する事項を掲げたものである。無線局運用規則（第18条、第127条及び第261条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

- ① 各局 A
② こちらは 1回
③ 自局の呼出符号 B
④ どうぞ 1回

A	B
1 2回以下	3回以下
2 2回以下	2回以下
3 3回	3回以下
4 3回	2回以下

A－13 欧文によるモールス無線通信において使用する「反復してください。」を示す略符号を表すモールス符号はどれか。無線局運用規則（第 1 2 条及び第 1 3 条並びに別表第 1 号及び別表第 2 号）の規定に照らし、下の 1 から 4 までのうちから一つ選べ。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 1 - . -
- 2 . - -
- 3 . - . . - - . -
- 4 - - - . .

注 モールス符号の点、線の長さ及び間隔は、簡略化してある。

A－14 「こちらは、通信中です（又はこちらは、・・・（名称又は呼出符号）と通信中です。）。妨害しないでください。」を示す Q 符号を表すモールス符号はどれか。無線局運用規則（第 1 2 条及び第 1 3 条並びに別表第 1 号及び別表第 2 号）の規定に照らし、下の 1 から 4 までのうちから一つ選べ。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 1 - - . - - - . .
- 2 - - . - - - -
- 3 - - . - . - -
- 4 - - . - . - . . - - . .

注 モールス符号の点、線の長さ及び間隔は、簡略化してある。

A－15 アルファベットの字句とその字句を表すモールス符号が適合する組合せはどれか。無線局運用規則（第 1 2 条及び別表第 1 号）の規定に照らし、下の 1 から 4 までのうちから一つ選べ。

	字句	モールス符号
1	AMAZON	. - - - . - - . . - .
2	COLUMB I A	- . - . - - - . - - - - -
3	HUDSON - . . - - - - - .
4	N I L E	- - . . .

注 モールス符号の点、線の長さ及び間隔は、簡略化してある。

A－16 XKWVBY37 を表すモールス符号はどれか。無線局運用規則（第 1 2 条及び別表第 1 号）の規定に照らし、下の 1 から 4 までのうちから一つ選べ。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 1 - . - - . . - - - - - - - - . .
- 2 - . - - - - - - - . - - - . . . - - -
- 3 - . . . - . - . - - - . . . - - - . . .
- 4 - . . . - . - . . - - - . . . - - - - - -

注 モールス符号の点、線の長さ及び間隔は、簡略化してある。

A－17 アマチュア無線局の検査に関する記述として、電波法（第 7 3 条第 5 項）の規定に適合しないものはどれか。下の 1 から 4 までのうちから一つ選べ。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 1 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要があるときは、その職員を無線局に派遣し、その無線設備等（注）を検査させることができる。
- 2 総務大臣は、電波法第 7 2 条（電波の発射の停止）第 1 項の電波の発射の停止を命じたときは、その職員を無線局に派遣し、その無線設備等を検査させることができる。
- 3 総務大臣は、電波法第 7 1 条の 5（技術基準適合命令）の無線設備の修理その他の必要な措置をとるべきことを命じたときは、その職員を無線局に派遣し、その無線設備等を検査させることができる。
- 4 総務大臣は、無線設備が電波法第 3 章（無線設備）に定める技術基準に適合していないと認めるときは、電波法第 2 4 条の 2（検査等事業者の登録）第 1 項の登録を受けた者を無線局に派遣し、その無線設備等を検査させることができる。

注 無線設備、無線従事者の資格及び員数並びに時計及び書類をいう。以下同じ。

A－18 次の記述は、非常の場合の無線通信について述べたものである。電波法（第74条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

総務大臣は、地震、台風、洪水、津波、雪害、火災、暴動その他非常の事態が発生し、又は発生する虞^{おそれ}がある場合においては、 A、災害の救援、交通通信の確保又は秩序の維持のために必要な通信を B に行わせることができる。

- | A | B |
|-----------------------------|---------|
| 1 人命の救助 | 無線局 |
| 2 人命の救助 | 電気通信事業者 |
| 3 有線通信を利用することができないときに、人命の救助 | 電気通信事業者 |
| 4 有線通信を利用することができないときに、人命の救助 | 無線局 |

A－19 アマチュア無線局の免許の取消しに関する記述として、電波法（第76条）の規定に適合しないものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 総務大臣は、免許人が電波法又は放送法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者に該当するに至ったときは、その免許を取り消すことができる。
- 2 総務大臣は、免許人が正当な理由がないのに、無線局の運用を引き続き6箇月以上休止したときは、その免許を取り消すことができる。
- 3 総務大臣は、免許人が不正な手段により無線局の免許を受けたときは、その免許を取り消すことができる。
- 4 総務大臣は、免許人が電波の発射の停止の命令に従わないときは、その免許を取り消すことができる。

A－20 無線従事者の免許証の返納に関する記述として、無線従事者規則（第51条）の規定に適合するものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 無線従事者は、免許がその効力を失ったときは、1箇月以内にその免許証を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に返納しなければならない。
- 2 無線従事者は、免許の取消しの処分を受けたときは、その処分を受けた日から10日以内にその免許証を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に返納しなければならない。
- 3 無線従事者は、無線設備の操作を5年以上行わなかったときは、遅滞なくその免許証を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に返納しなければならない。
- 4 無線従事者は、その業務に従事することを停止する処分を受けたときは、その処分を受けた日から10日以内にその免許証を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に返納しなければならない。

A－21 無線通信規則（第5条）に規定する周波数分配表において、アマチュア業務に分配されていない周波数帯はどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 10,005kHz～10,100kHz
- 2 14,000kHz～14,350kHz
- 3 18,068kHz～18,168kHz
- 4 21,000kHz～21,450kHz

A－22 次の記述は、無線局からの混信を防止するための措置について述べたものである。無線通信規則（第15条）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。なお、同じ記号の 内には、同じ字句が入るものとする。

- ① 混信を避けるために、送信局の A 及び、業務の性質上可能な場合には、受信局の A は、特に注意して選定しなければならない。
- ② 混信を避けるために、不要な方向への輻射^{ふく}又は不要な方向からの受信は、業務の性質上可能な場合には、 B の C をできる限り利用して、最小にしなければならない。

- | A | B | C |
|--------|------------|-------|
| 1 無線設備 | 送信設備及び受信設備 | 利点 |
| 2 無線設備 | 指向性のアンテナ | 電気的特性 |
| 3 位置 | 指向性のアンテナ | 利点 |
| 4 位置 | 送信設備及び受信設備 | 電気的特性 |

A－23 局の許可書に関する記述として、無線通信規則（第18条）の規定に適合しないものはどれか。下の1から4までのうちから一つ選べ。

- 1 許可書には、局が受信機を有する場合には、受信することを許可された無線通信以外の通信の傍受を禁止すること及びこのような通信を偶然に受信した場合には、これを再生し、第三者に通知し、又はいかなる目的にも使用してはならず、その存在さえも漏らしてはならないことを明示又は参照の方法により記載していなければならない。
- 2 送信局は、その属する国の政府が適当な様式で、かつ、無線通信規則に従って発給する許可書がなければ、個人又はいかなる団体においても、設置し、又は運用することができない。ただし、無線通信規則に定める例外の場合を除く。
- 3 許可書には、局が受信機を有する場合には、受信機から輻射するエネルギーは、他局に有害な混信を生じさせてはならないことを明示又は参照の方法により記載していなければならない。
- 4 許可書を有する者は、国際電気通信連合憲章及び国際電気通信連合条約の関連規定に従い、電気通信の秘密を守ることを要する。

A－24 次の記述は、アマチュア業務について述べたものである。無線通信規則（第25条）の規定に照らし、□内に入れるべき最も適切な字句の組合せを下の1から4までのうちから一つ選べ。

- ① 主管庁は、アマチュア局を運用するための免許を得ようとする者にモールス信号によって文を□A□する能力を実証すべきかどうか判断する。
- ② アマチュア局の最大電力は、□B□が定める。
- ③ 国際電気通信連合憲章、国際電気通信連合条約及び無線通信規則の□C□は、アマチュア局に適用する。

A	B	C
1 送信及び受信	国際電気通信連合	技術特性の規定
2 送信及び受信	関係主管庁	すべての一般規定
3 送信	国際電気通信連合	すべての一般規定
4 送信	関係主管庁	技術特性の規定

B－1 次の記述は、電波法に定める用語の定義である。電波法（第2条）の規定に照らし、□内に入れるべき最も適切な字句を下の1から10までのうちからそれぞれ一つ選べ。

- ① 「電波」とは、□ア□以下の周波数の電磁波をいう。
- ② 「無線電信」とは、電波を利用して、□イ□を送り、又は受けるための通信設備をいう。
- ③ 「無線電話」とは、電波を利用して、□ウ□を送り、又は受けるための通信設備をいう。
- ④ 「無線設備」とは、無線電信、無線電話その他電波を送り、又は受けるための□エ□をいう。
- ⑤ 「無線局」とは、無線設備及び無線設備の□オ□を行う者の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。

1 30万メガヘルツ	2 モールス符号	3 音声その他の音響	4 電氣的設備	5 管理
6 300万メガヘルツ	7 符号	8 音声	9 通信設備	10 操作

B－2 送信設備の空中線、給電線又はカウンターポイズであって高圧電気（注）を通ずるものは、その高さが人の歩行その他起居する平面から2.5メートル以上のものでなければならないが、これによらないことができる場合として、電波法施行規則（第25条）に規定されているものを1、規定されていないものを2として解答せよ。

注 高周波若しくは交流の電圧300ボルト又は直流の電圧750ボルトを超える電気をいう。

- ア 無線従事者以外の者が立ち入らないよう警告書を掲示している場合
- イ 2.5メートルに満たない高さの部分が、人体が容易に触れない位置にある場合
- ウ 2.5メートルに満たない高さの部分が、人体に容易に触れない構造である場合
- エ 2.5メートルに満たない高さの部分が、容易に識別できるよう赤色灯で照明されている場合
- オ 移動局であって、その移動体の構造上困難であり、かつ、無線従事者以外の者が出入しない場所にある場合

B－3 次の掲げるQ符号及び意義の組合せについて、無線局運用規則（第13条及び別表第2号）の規定に照らし、Q符号とその意義が適合するものを1、適合しないものを2として解答せよ。

	Q符号	意義
ア	QRH	送信を中止してください。
イ	QRO	もっとおそく送信してください。
ウ	QRP	送信機の電力を減少してください。
エ	QRV	こちらは、そちらへ伝送するものではありません。
オ	QSY	他の周波数（又は・・・kHz（若しくはMHz））に変更して伝送してください。

B－4 次の掲げるアルファベットの字句及びモールス符号の組合せについて、無線局運用規則（第12条及び別表第1号）の規定に照らし、アルファベットの字句とその字句を表すモールス符号が適合するものを1、適合しないものを2として解答せよ。

	字句	モールス符号
ア	FOXTROT	...- - - - - . - . - - - - -
イ	JULIETT	. - - - - . - . - . - . - - -
ウ	OSCAR	- - - - . - . - . - . - . -
エ	WHISKEY	. - - . - . - . - . - . - . - . - - -
オ	YANKEE	- . - - - . - - . - . - . - . - .

注 モールス符号の点、線の長さ及び間隔は、簡略化してある。

B－5 無線局の免許人が総務大臣に報告しなければならない場合として、電波法（第80条）に規定されているものを1、規定されていないものを2として解答せよ。

- ア 人の生命に重大な危害を及ぼす犯罪の現行犯人の逮捕に関し急を要する通信を行ったとき。
- イ 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき。
- ウ 非常の場合の無線通信の訓練のための通信を行ったとき。
- エ 原因不明の重大な混信を受けたとき。
- オ 非常通信を行ったとき。

B－6 次の記述は、「有害な混信」の定義である。国際電気通信連合憲章附属書（第1003号）の規定に照らし、 内に入れるべき最も適切な字句を下の1から10までのうちからそれぞれ一つ選べ。なお、同じ記号の 内には、同じ字句が入るものとする。

「有害な混信」とは、無線航行业務その他の の運用を し、又は に従って行う の運用に重大な悪影響を与え、若しくはこれを し若しくは する混信をいう。

- | | | | | |
|--------|------|-------------|----------|-----------|
| 1 安全業務 | 2 妨害 | 3 その属する国の法令 | 4 電気通信業務 | 5 一時的に中断 |
| 6 特別業務 | 7 制限 | 8 無線通信規則 | 9 無線通信業務 | 10 反覆的に中断 |